



カタログ
No.415-8

LIFMON

●ターペン可溶2液形万能シーラー●

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

リフモン



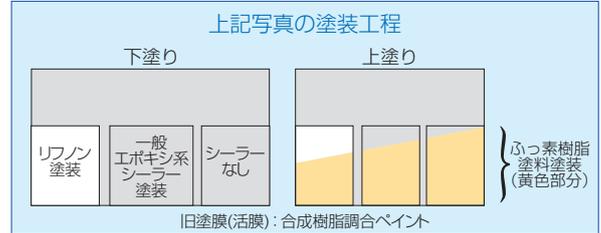
スズカワアイコ

特長

旧塗膜（活膜）面に溶剤系塗料（ふっ素・ウレタンなど）を、塗装した場合ちぢみ現象を生じることがあります。リフノンは、このちぢみ現象を防止し安心して塗装できるターペン可溶万能シーラーです。リフノンはエポキシ・ウレタン樹脂を使用していますので、強力な付着性を有し、防さび性、耐水性、耐アルカリ性にも優れています。



1. 旧塗膜（活膜）のちぢみ現象が生じませんので、強溶剤系塗料（ふっ素、ウレタンなど）が安心して塗装できます。
2. 金属系素地、無機系素地および各種の旧塗膜面に対する付着性に優れています。
3. ターペン可溶タイプですから、はけ塗り作業性は合調並みに優れ、臭気もゆるやかです。
4. 防さび性、吸い込み止め性に優れています。
5. ウレタン、アクリル、合調、弾性塗料などいずれの塗料も塗装できます。
6. ホルムアルデヒド放散等級区分F☆☆☆☆☆ですので、内装仕上げに制限なしに使用できます。
7. JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー相当品



塗膜性能

試験項目	試験結果	試験方法及び判定基準
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。
混合性	合格	主剤と硬化剤が簡単に混ざること。
可使用時間	3時間	23℃
塗膜の外観	合格	流れ、つぶ、しわ、むらがなくこと。
塗装作業性	合格	はけ、ローラー、吹付け作業に支障がないこと。
表面乾燥時間	1.5時間	JIS K 5600 6.5による。表面乾燥性（パロチニ法）23℃、50%RH
上塗り適合性	合格	上塗り（エポール）しても支障がないこと。
付着性	分類 O	JIS K 5600 5.6による。2mm間隔
耐屈曲性	合格	JIS K 5600 5.1による。直径4mmの折り曲げに耐えること。
耐水性	合格	14日間、水に浸漬したとき、異常がないこと。
耐アルカリ性	合格	10日間、飽和水酸化カルシウム水溶液に浸漬したとき、異常がないこと。
耐塩水噴霧性	合格	500時間の塩水噴霧に耐えること。（5%食塩水、35℃）

各種下塗塗料との比較

塗料	旧塗膜適合性	上塗り適合性	付着性	耐塩水噴霧性	耐水性
リフノン ※1 ※2	○	○	○	□	○
エポキシ樹脂系さび止め ※1	△	○	○	○	○
一般さび止め ※1	○	△	○	△	×
エポキシ樹脂系シーラー ※2	△	○	○	□	○
アクリル樹脂系シーラー ※2	△	△	□	△	□

※1. 金属系素地面での比較 ※2. セメント系素地面での比較

適用範囲

適用部位	適用素地	適用旧塗膜	適用上塗塗料	
建築物	金属系素地	●鉄骨 ●鋼板 ●亜鉛鉄板（電気亜鉛めっき、溶融亜鉛めっき）※2 ●ステンレス板 ●アルミニウム板 ●ガルバリウム鋼板	●合成樹脂調合ペイント ●アクリル樹脂塗料 ●アクリルアルキド樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●塩化ゴム樹脂塗料	ワイドエポールシリーズ・ワイドシリーズ 1液ワイドシリコン・アクリルバーン エスコートホープDX・エスコートECO エポール・ラフンウレタンエナメル ラフンセラミック・メタルトップ
		●塩化ビニル被覆鉄板※3		ワイドエポールシリーズ・ワイドシリーズ エポール・ラフンウレタンエナメル ユニシリーズ・カベクールSi
	セメント系素地	●コンクリート ●モルタル ●スレート ●押出成形板 ●サイディングボード	●複層仕上塗材 ●薄付け仕上塗材 ●厚付け仕上塗材 ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料	ワイドエポールシリーズ・ワイドシリーズ 1液ワイドシリコン・エポール ラフンセラミック・ラフンウレタンエナメル ラフンアクリエナメル・ユニシリーズ カベクールSi
		●防水形複層仕上塗材E ●防水形外装薄塗材E	弾性ワイドシリーズ	
建築物	金属系素地	●亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき）※2 ●ステンレス板 ●アルミニウム板 ●ガルバリウム鋼板	●アクリル樹脂塗料 ●アクリルアルキド樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●塩化ゴム樹脂塗料	ワイドエポールシリーズ・ワイドシリコン ワイドエポールクールシリーズ ラフンワイドフッソ・ワイドルーフ エポール・アクリルエポール・メタルトップ クールトップスーパーシリーズ クールトップSi・クールトップU
		●塩化ビニル被覆鉄板※3		ワイドエポールシリーズ・ワイドシリコン ワイドエポールクールシリーズ ラフンワイドフッソ・ワイドルーフ エポール・クールトップスーパーシリーズ クールトップSi・クールトップU
	セメント系素地	●スレート ●新生瓦	●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料	ワイドエポールシリーズ・ワイドシリコン ワイドエポールクールシリーズ ラフンワイドフッソ・ワイドルーフ 1液ワイドシリコン・エポール クールトップスーパーシリーズ クールトップSi・クールトップU

※1 歩行部位には適用できません。 ※2 どぶ漬け溶融亜鉛メッキ鋼材には適用できません。 ※3 塩化ビニル被覆鉄板が劣化し、硬化した状態であれば、1液ワイドシリコン、アクリルバーン、アクリルエポールの使用もできます。

標準塗装仕様(例)

金属系素地、旧塗膜（活膜）：平滑面の塗替の場合						
工程	塗料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/m ² /回）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ほこり、汚れ、油分などの付着物を除去・清掃する。 劣化塗膜およびさびをディスクサンダー、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどを用いて除去する。（2～3種ケレン） ケレン部にさび止め塗料を塗装する。 				
2	下塗り	リフノン 塗料用シンナー	100 0～20	0.08～0.18	1～2	塗装間隔別表参照 はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	適用範囲：適用上塗塗料による				

セメント系素地、旧塗膜（活膜）：凹凸模様面の塗替の場合						
工程	塗料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/m ² /回）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 汚れ、じんあいおよび、チョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa以上）で除去する。 水洗い面を乾燥させる。 旧塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 				
2	下塗り	リフノン 塗料用シンナー	100 0～20	0.08～0.18	1～2	塗装間隔別表参照 はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	適用範囲：適用上塗塗料による				

- シーリング面に、可塑剤の移行防止を目的とした塗装もできます。
適用シーリング材：アクリル系、ウレタン系（1液、2液）、変性シリコン系（1液、2液）、リフノンの塗装は、シーリング材充てん後、7日以上1ヶ月以内放置してから行ってください。2回塗ってください。

塗回数

- 下記の塗装系の場合は2回塗りしてください。

素地	下塗塗料（塗回数）	上塗塗料
塩化ビニル被覆鉄板	リフノン（2回塗り）	ワイドエポレーシリーズ・ワイドエポレーケールシリーズ ラフトンワイドフッソ・ワイドウレタン・ワイドルーフ・エポレー ラフトンウレタンエナメル・ユニシリーズ クールトップスーパーシリーズ クールトップSi・クールトップU・カベクールSi
旧塗膜 <ul style="list-style-type: none"> アクリル樹脂塗料 塩化ビニル樹脂塗料 塩化ゴム樹脂塗料 つや有合成樹脂エマルジョンペイント 	リフノン（2回塗り）	ラフトンセラミック・ラフトンウレタンエナメル ラフトンアクリエナメル・メタルトップ

塗装間隔

下塗塗料	部位	工程内（23℃、50%RH）	工程間（23℃、50%RH）	上塗塗料
リフノン	屋根以外	3時間以上 14日以内	5時間以上 14日以内	ワイドエポレーシリーズ ワイドエポレーケールシリーズ ワイドシリーズ・弾性ワイドシリーズ 1液ワイドシリコン・アクリルバレン エスコートホープDX・エスコートECO
			16時間以上 14日以内	ラフトンセラミック・ラフトンウレタンエナメル エポレー・ラフトンアクリエナメル・メタルトップ
			16時間以上 7日以内	ユニシリーズ・カベクールSi
	屋根	16時間以上 14日以内	16時間以上 14日以内	ワイドエポレーシリーズ・ワイドエポレーケールシリーズ ラフトンワイドフッソ・ワイドシリコン・1液ワイドシリコン エポレー・ワイドルーフ・メタルトップ・アクリルエポレー
		16時間以上 7日以内	16時間以上 7日以内	クールトップスーパーシリーズ クールトップSi・クールトップU

さび止め塗料	塗装間隔（23℃、50%RH）	下塗塗料
<ul style="list-style-type: none"> 一般用さび止めペイント（速乾ラスノ5621） 鉛：クロームフリーさび止めペイント（速乾ラスノ5674） 2液弱溶剤エポキシ樹脂さび止め塗料（ワイドラスノEPO） 	1日以上	リフノン
<ul style="list-style-type: none"> 1液エポキシ樹脂さび止め塗料（エポブラ） 	5時間以上	
<ul style="list-style-type: none"> 2液エポキシ樹脂さび止め塗料（さびストップ） 弱溶剤エポキシ樹脂さび止め塗料（エポマイルド） 	8時間以上	

塗装基準

塗料	リフノン		
塗装方法	はけ塗り	ローラー塗り	エアレス塗り
希釈剤	塗料用シンナー		
希釈率(%)	0~10		10~20
標準塗付量(kg/m ² /回)	0.08~0.16		0.08~0.18
標準膜厚(μm/回)	30~45		
塗装回数(回)	1~2		

乾燥時間

塗料	リフノン			
気温(℃)	5	10	23	30
表面乾燥時間(h)	3.5	2	1.5	1

可使用時間

塗料	リフノン		
気温(℃)	5~15	15~25	25~35
可使用時間(h)	4	3	2

塗料性状

項目	リフノン主剤	リフノン硬化剤
混合比率(重量比)	15	1
消防火表示	化学名 エポキシ樹脂塗料	ポリイソシアネート
	危険物分類 指定可燃物	第四類第四石油類
	危険等級 可燃性液体類	危険等級Ⅲ
有機溶剤区分	第三種有機溶剤等	

塗装上の注意事項

- 高温(50℃以上)、湿度85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露の恐れのある場合は塗装を避けてください。
- 主剤・硬化剤は正確に混合し、均一にかくはんしてください。また、可使用時間内にご使用ください。
- 塗付量が少ない場合、ちぢみ防止効果、可塑性移行防止効果、防さび性が低下しますので、標準塗付量を必ず塗装してください。尚、エッジ部などは増し塗りしてください。
- 風通しの悪い箇所での塗装は、換気に十分注意してください。
- 素地の乾燥状態には、十分注意してください。
- 使用後の塗装器具は、できるだけ早く塗料用シンナーで洗浄してください。
- 希釈シンナーに芳香族系シンナー、ラッカーシンナー、エポキシシンナーは、使用しないでください。(硬化不良または旧塗膜をおかすことがあります。)
- エアレス塗装の場合、ミスト汚染防止には、十分考慮してください。また、可使用時間にご注意ください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱作業場所には、局所換気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは、食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるかまたは、養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
 - ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または、粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分してください。

容量

リフノン.....
 16kgセット(主剤15kg/硬化剤1kg)
 3.2kgセット(主剤3kg/硬化剤0.2kg)



営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
 研究開発本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
 九州支店 ☎092-938-0071

取扱店